



S.Setoguchi

THE MBS SHO SWAN STAKES

第68回 MBS賞 スワンステークス (GII)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 59,000,000円 24,000,000円 15,000,000円 8,900,000円 5,900,000円
付加賞 1,274,000円 364,000円 182,000円



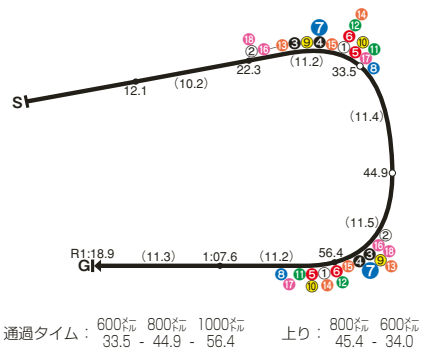
レース映像は
こちらでご覧
いただけます。

3歳以上、除3歳未出走馬および未勝利馬
負担重量 3歳55^{kg}、4歳以上57^{kg}、牝馬2^{kg}減、2024.10.5以降G I競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2^{kg}増、
牝馬限定G I競走またはG II競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1^{kg}増、2024.10.4以前のG I競走(牝馬限定
競走を除く)1着馬1^{kg}増(ただし2歳時の成績を除く)

2025.10.13 京都 晴・良 芝1400m 国産(指定)

着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑦	オフトレイル	牡	4	57	菅原明良	R1:18.9	11-11	33.2	462(-2)	7.5⑩	吉村圭司(栗東)	114
2	④	ワイドラトゥール	牝	4	55	北村友一	クビ	11-11	33.3	428(+8)	43.7⑩	藤原英昭(栗東)	109
3	①	ランスオブカオス	牡	5	55	吉村誠之助	½	6-6	33.6	492(-2)	7.0④	奥村 豊(栗東)	112
4	⑤	ウインマーベール	牡	6	57	松山弘平	ハナ	4-4	33.8	482(-2)	5.9③	深山雅史(美浦)	112
5	⑨	シュタルヴィント	牡	5	57	小崎健也	¾	13-13	33.2	446(+0)	64.9⑩	矢作芳人(栗東)	
6	⑩	アドマイヤーズム	牡	3	55	坂井瑠星	クビ	6-6	33.7	474(+4)	4.7②	友道康夫(栗東)	
7	⑬	ダンツエラン	牝	3	53	松若風馬	クビ	15-13	33.2	492(+2)	201.6⑩	本田 優(栗東)	
8	⑧	ワールドエンド	牡	4	57	戸崎圭太	アタマ	1-1	34.3	470(+2)	4.4①	池添 学(栗東)	
9	⑨	レッドモンレーヴ	牡	6	57	酒井 学	クビ	17-16	33.0	512(-12)	78.1⑩	蛸名正義(美浦)	
10	⑫	ロジリオン	牝	4	57	古川吉洋	½	6-8	33.9	504(+8)	18.8⑦	古賀慎明(美浦)	
11	⑩	ショウナンザナドゥ	牡	3	53	池添謙一	同着	10-10	33.8	450(-2)	26.8⑩	松下武士(栗東)	
12	⑫	タイムトゥヘヴン	牡	7	57	柴田善臣	1	17-18	33.1	482(-2)	86.9⑩	戸田博文(美浦)	
13	⑬	グレイズグリーン	牡	7	57	高杉史朗	ハナ	16-16	33.3	504(+6)	48.5⑩	池江泰寿(栗東)	
14	③	ムイ	牝	3	53	岩田望来	1½	14-13	33.9	478(+14)	21.9⑩	笹田和秀(栗東)	
15	⑩	アルデヴェローチェ	牡	3	55	佐々木大輔	クビ	4-4	34.5	462(+6)	16.9⑩	須貝尚介(栗東)	
16	⑪	バルサムノート	牡	5	57	小沢大仁	2	2-3	35.0	516(+6)	281.3⑩	高野友和(栗東)	
17	⑪	アサカラキング	牡	5	57	岩田康誠	クビ	2-2	35.2	526(-4)	19.1⑩	斎藤 誠(美浦)	
18	⑥	ソーダスリング	牝	5	55	菱田裕二	4	6-8	35.4	468(-4)	29.7⑩	新谷功一(栗東)	

単勝⑦750円(5^{kg}) 複勝⑦230円(5^{kg}) ④1,010円(13^{kg}) ①230円(4^{kg}) 枠連②-②2,490円(12^{kg})
馬連④-⑦14,780円(46^{kg}) ワイド④-⑦3,660円(45^{kg}) ①-⑦870円(8^{kg}) ①-④5,320円(58^{kg})
馬単⑦-④22,150円(79^{kg}) 3連複①-④-⑦30,920円(100^{kg}) 3連単⑦-④-①168,690円(540^{kg})
5重勝⑩①②⑧⑦3,650,860円(149票) 対象競走: 京都9R/東京10R/京都10R/東京11R/京都11R



通過タイム: 600m 800m 1000m 上り: 800m 600m
33.5 - 44.9 - 56.4 45.4 - 34.0

アラカルト

- 菅原明良騎手はスワンS初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算13勝目
- 吉村圭司調教師はスワンS初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算12勝目
- Farhh産駒はJRA重賞通算2勝目
- 勝ちタイム1:18.9はレースレコードかつコースレコード
- ロジリオンの団野大成騎手は第6競走での入線後の落馬負傷のため古川吉洋騎手に変更
- 非常選馬 1頭(スカイロケット)
- 非抽選馬 1頭(セッション)
- オフトレイルはマイルチャンピオンシップ(GI)に優先出走できる

⑧ オフトレイルGB *Off Trail*

牡 鹿毛 2021.5.14生
イギリス Godolphin生産
馬主・ゴドルフィン 栗東・吉村圭司厩舎
馬名意味・道のないところに行く

ローズトレイルUSA系 F2-c

Farhh 鹿毛 2008	Pivotal 栗毛 1993	Polar Falcon
		Fearless Revival
	Gonbarda 鹿毛 2002	Lando
		Gonfalon
Rose Trail 鹿毛 2007	Kingmambo 鹿毛 1990	Mr. Prospector
		Miesque
	Mannington 鹿毛 1997	Danehill
		Bint Marscay

5代までのインブリード：Nureyev S4×M4 Northern Dancer S5×M5×M5

INTERVIEW

ハリー・スウィーニ代表取締役
(ダーレー・ジャパン株式会社)

ますます強くなっていくと思います

近走、素晴らしいパフォーマンスを披露していましたので、スワンS制覇、さらにコースレコードを樹立してくれたことを大変嬉しく思います。遅生まれでデビュー時はわずか430kgでしたが、その後は目を見張るような成長を遂げ現在では460kgを超える馬体重で出走しています。今後ますます強くなっていくと思いますので、G Iの舞台での活躍を楽しみにしています。

S. Okada



今年のラジオON NIKKEI賞で重賞初制覇を果たした後は、2着2回(スワンS、関屋記念)、3着1回(阪神C)と惜敗を重ねた本馬だが、この日はハイベースの展開も追い風に末脚が爆発、レースレコードで制したラジオON NIKKEI賞に続き、コースレコードを塗り替えて重賞2勝目を挙げた。遅生まれ(5月14日)の英国産馬がいよいよ本格化ムード。上昇気流に乗って挑むマイルチャンピオンシップが楽しみだ。

昨年のラジオON NIKKEI賞で重賞初制覇を果たした後は、2着2回(スワンS、関屋記念)、3着1回(阪神C)と惜敗を重ねた本馬だが、この日はハイベースの展開も追い風に末脚が爆発、レースレコードで制したラジオON NIKKEI賞に続き、コースレコードを塗り替えて重賞2勝目を挙げた。遅生まれ(5月14日)の英国産馬がいよいよ本格化ムード。上昇気流に乗って挑むマイルチャンピオンシップが楽しみだ。

父Farhh

イギリス産 英、仏10戦5勝(チャンピオンS・英^{G1}、ロッキンジS・英^{G1}、インターナショナルS・英^{G1}2着、エクリプスS・英^{G1}2着、サセックスS・英^{G1}2着、ムーランドロンシャン賞・仏^{G1}2着)、14年から英で供用〔代表産駒〕トリバリスト Tribalist(ムーランドロンシャン賞・仏^{G1}、ミュゲ賞・仏^{G2}3回、エドモンブラン賞・仏^{G3}2回、ベルトランデュブルイユ賞・仏^{G3})、キングオブチェンジ King of Change(クイーンエリザベスII世S・英^{G1}、英2000ギニー^{G1}2着)、フォンテーヌ Fonteyn(サンチャリオットS・英^{G1})、オフトレイルGB(本馬)、ムーヴスイフトリー Move Swiftly(デュークオブケンブリッジS・英^{G2})、ノクターナルフォックス Nocturnal Fox(オカール賞・仏^{G2})、ティファニー Tiffany(Tフォンツェラストロフ牝馬賞・独^{G2})、ディーイクスビー Dee Ex Bee(サガロS・英^{G3})、他に重賞勝ち馬多数

母ローズトレイルUSA

不出走。14年輸入、15年輸出(英)

ローゼンタル Rosental(12 牝父Pivotal)仏、英、愛16戦4勝(ダリア賞・仏L2回、フィユドレール賞・仏^{G3}3着、アップエイヴオンS・英L3着)

ローザインベリアル Rosa Imperial(13 牝父Pivotal)仏、首9戦4勝(リゾランジ賞・仏^{G3}、ラカロンヌ賞・仏L、ハンプトン賞・仏L、ロートシルト賞・仏^{G1}3着)

リボンズンローズ Ribbons 'n' Roses(14 牝父Cape Cross)愛4戦0勝

リーディングエッジ(15 騾父New Approach)持込 中央9戦1勝

イヴニングブルーム Evening Bloom(16 牝父アドマイヤムーン)不出走

アーザムローズ Asam Rose(18 牝父Golden Horn)不出走

(20 牝父Farhh)

オフトレイルGB 本馬(21 牝父Farhh)中央15戦4勝(スワンS^{G1}、ラジオ

NIKKEI賞^{G1}、こぶし賞、スワンS^{G1}2着、関屋記念^{G1}2着、白百合S・L2着、阪神C^{G1}3着) 獲得総賞金186,458,000円

(23 牝父Oasis Dream)

※17(流産)、19、22(報告なし)

祖母マンニントン Mannington

オーストラリア産 豪3勝(ブルーダイヤモンドプレリウドフィリーズ^{G3}、タ

リンダートS・L、スキラッチS^{G2}2着、ニューマーケットH^{G1}3着、ブルー

ダイヤモンドS^{G1}3着)、ベニシオ Benicio(ヴィクトリアダービー・豪^{G1})、ロ

ムネヤ Romneya(ムーニーヴァレーフィリーズクラシックオークス・豪^{G2})、

ロヘリン Roheryn(ショーカウンティクオリティ・豪^{G3})の母

コースレコードを塗り替え重賞2勝目

今年から日程が2週間繰り上げられたマイルチャンピオンシップの関西の前哨戦・スワンSには、実力の比較が難しい多彩な顔触れが集結。ファンの評価も割れたなか、3勝クラスを勝ち上がったばかりの4歳馬ワイルズエンが1番人気に推され、昨年の2歳マイル王アドマイヤズーム、芝14000mの重賞を3勝している6歳の実力馬ウインマーベルがこれに続く勢力図が描かれた。そんな混戦ムードに断を下したのは5番人気のオフトレイル。身上の末脚を冴え渡らせた4歳馬が1年前(クビ差)2着の雪辱も果たし、本番の有力候補に浮上した。

出足に優れたワイルズエンドと、外枠から手綱を押して飛び出したアサカラキングが繰り広げた主導権争いは前者に軍配。ウインマーベルは火花を散らす2頭から3馬身ほど離れた好位のインにつけ、アドマイヤズームが背後の6番手を進む。一方のオフトレイルはスタートで立ち遅れたものの、すぐに行き脚がついてヒインドを挽回。菅原明良騎手は中団馬群の後方で脚を溜め、仕掛けのタイミングを窺った。2番手に控えたアサカラキングが再び前に並びかけ、幕を開けた直線の攻防は形勢が二転三転。残り200m地点では2頭の内を突いたウインマーベルと、間を割ったランスオブカオスが抜け出しをはかったが、好位で運んだ両馬はあとひと押しを欠いて脚色が鈍る。そこへオフトレイルとワイドラトゥールが強襲。馬場の真ん中を力強く伸びたオフトレイルが、馬群を捌いて追い込んだワイドラトゥールをクビ差に連れて勝利を手にした。